

2024年6月～2025年3月

第51期包装学校募集要項

- 包装機械設計技術専門課程
- パッケージングエンジニア専門課程
- デジタル制御技術専門課程
 - モーション制御実習講座



一般社団法人 日本包装機械工業会

■ 包装学校受講生募集のご案内

- 包装機械設計技術専門課程
- パッケージングエンジニア専門課程

日本包装機械工業会では、教育事業の一環として昭和49年（1974年）に“包装学校”を開講して以来、5,000名以上にわたる包装スペシャリストを世に送り出し、少なからず、企業のため、業界のため貢献してまいりました。

本学校は、設計技術、パッケージングエンジニア技術、オペレータ技術、包装機械と包装資材との適正化技術、経営管理技術等の総合教育を目標としていますが、当初は、本格的な国際化時代に対応するための技術の向上を目的とし、生産の心臓部である設計課程を開講し、第2期生まで教育を行ってまいりました。

しかし、オイルショック後、日本経済が低成長時代に入り、各企業とも単なるセールスマンからセールスエンジニアの育成の必要性が高まり、本学校では新たにセールスエンジニアリング技術課程を設けましたが、セールスエンジニアの育成のみならず、ユーザの皆様にも受講し易く包装に関する総合的専門知識の修得を図れるよう、名称を昭和58年（1983年）よりパッケージングエンジニア専門課程と変更し、さらに平成13年（2001年）から、設計技術専門課程に実習講座を組み入れ、より一層の内容の充実を図っております。

講座修了者には修了証書を授与し、さらに資格認定試験合格者には、包装機械設計士・相談士の称号を授与いたしております。

本年も包装学校を開講いたしますが、各企業の社員養成の一環としてご参加くださるようご案内申し上げます。

一般社団法人 日本包装機械工業会
包装学校長 大 森 利 夫



● デジタル制御技術専門課程

近年、包装機械の制御にマイクロコンピュータを使用することは、もはや不可欠の技術となりました。このため、マイクロコンピュータ制御技術を駆使した包装機械の開発計画を進め、そのアフターフォローまでの業務を効率的に運ぶには、優秀なコンピュータ技術者の採用または企業内での育成が必要です。しかしながら現実には、技術者の確保は極めて難しく、設計からアフターフォローまで、かなりの部分を外部依存しているのが実状であります。

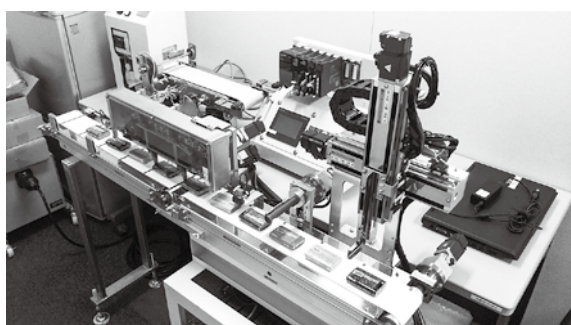
このため、昭和63年（1988年）より「マイクロコンピュータ制御技術専門課程」を設け、最新技術知識の取得レベルにとどまらず、マイクロコンピュータを応用した包装機械を設計することができ、サービス業務につくことができるコンピュータ技術者の育成を図ることにいたしました。

また、令和4年（2022年）からは「デジタル制御技術専門課程」に名称を変更し、制御設計の仕事に1年以上携わった方々を対象として、包装業界及びメカトロ機械開発に関する基礎講義とサーボモータを搭載したトレーニングデモ機を使用したモーション制御の実習講義で構成した専門講座にいたしました。サーボモータ制御及びモーションコントロール技術をより深く修得いただけるようにしております。

本課程は、業界からの強い要望に応じて開設した講座です。令和4年（2022年）より募集人数を従来の最大8名から16名に拡大いたしました。

当講座の主旨をご理解の上、業界の明日を担う各社の技術水準向上のため、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本包装機械工業会
包装学校長 大 森 利 夫



■ 講座の特色

包装学校は企業の総合的管理技術の向上を目的として昭和49年（1974年）に設立されました。

多くの包装スペシャリストを世に送り出し、関係各方面から高い評価を得ています。

昭和51年（1976年）から従来の包装機械設計技術専門課程と別に新設したセールスエンジニアリング技術課程を、昭和58年（1983年）からはパッケージングエンジニア専門課程に名称を変更し、両課程とも講義内容をより一層充実させております。

昭和63年（1988年）からは、コンピュータソフトの開発・プログラム設計者のためのマイクロコンピュータ制御技術専門課程を設け、令和4年（2022年）からはデジタル制御技術専門課程に名称を変更し、業界の制御レベルアップを図ります。

平成30年（2018年）からは国際化に関する講義を追加し、また、カリキュラム全体を見直し一新いたしました。その後も、ロボットやメカトロ技術に関する講義や国際規格に関する講座を新設しており、令和2年（2020年）からは、IoT・5G、AI・ビッグデータ等のIT技術に関するデジタル技術知識の講義を共通講座に新設するなど、常に時代の流れに合わせたカリキュラムにしております。

また、令和2年（2020年）より座学講座にオンデマンドビデオ配信システムを採用し、受講生は講義を職場やリモートなど場所を選ばず、自由な時間に繰り返し、柔軟に受講できるようになりました。

包装に関する基礎座学や開講式・グループワーク、ディベートディスカッション、設計技術専門課程の実習講座・デジタル制御技術専門課程の実習講座など、従来のリアルな対面講座（東京会場・大阪会場）とのハイブリッド型カリキュラムとしております。

尚、オンデマンド講座受講に関してのビデオ配信は、グーグル社が提供する『Googleドライブ』を使用しますので、それに対応した受信体制とWindowsを搭載したパソコンが必要となります。

■ 共通講座（包装機械設計技術専門課程・パッケージングエンジニア専門課程）

包装人として必要な知識の修得を目的に、包装機械業界の動向、包装資材、安全・衛生、特許、国際規格、ロボット・IT技術の最新動向、など幅広い講座としております。

■ 包装機械設計技術専門課程

目的と認識・対象の把握・対象改善の働きかけ・基礎実験・設計仕様の設定・構想と想像性、これらの設計手順をカリキュラムとした教育体系となっており、設計技術の仕事に2年以上携わった方々を対象としております。

第28期からは、電子回路編・機械編として実習講座を組み入れ、さらに実践的になっております。

■ パッケージングエンジニア専門課程

第9期まではセールスエンジニアリング技術課程と称し、セールスエンジニアの育成を目的としてまいりましたが、第10期からパッケージングエンジニア専門課程とし、包装に関する総合的専門知識を修得できるように組み立てられたカリキュラムとなっており、本格的な包装人の育成を目的としております。

■ デジタル制御技術専門課程

包装機械のコンピュータ化が近年急速に進み、モーション制御をはじめ、その内容も高度なものになってきているなか、ソフトの開発・プログラム設計をする人材の育成機関として本課程を取り込み、少数精鋭の集中講義により、業界のレベルアップを図ることを目的としております。

本講座は、制御関連の仕事に1年以上携わった方々を対象として、包装業界及びメカトロ機械に関する基礎講座とサーボモータを搭載したトレーニングデモ機を使用したモーション制御の実習講座で構成した専門講座としております。

なお、実習に使用しますノートパソコンを貸し出し致します。（無料）

第51期包装学校カリキュラム

◎包装機械設計技術・パッケージングエンジニア共通講座
(2024年6月～2025年3月)

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
1	6月21日(金) 10:00～17:00	6月28日(金) 10:00～17:00	開 講 式	包装学校長 企画運営委員	6
			グループワーク (オリエンテーション)	企画運営委員	

◎リアル対面講座 第一弾

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
2	7月18日(木) 10:00～17:00	7月25日(木) 10:00～17:00	包装機械概論 ー包装機械の基礎知識とトラブル対応ー グループディスカッション	一岡 幹朗 氏 協和電機(株) 代表取締役社長	6
	7月19日(金) 10:00～17:00	7月26日(金) 10:00～17:00	包装概論とプラスチック系包装材料	加藤 武男 氏 加藤包装技術事務所 所長	6

No	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
3	オンデマンド配信期間 8月6日(火)～9月9日(月)	包装産業事情と包装人	大森 利夫 氏 (一社)日本包装機械工業会 会長 大森機械工業(株) 代表取締役社長	3
		包装自動化の進め方	牧野 研二 氏 ゼネラルパッカー(株) 代表取締役社長	3
		包装機械のメカトロニクス化	畑野 真人 氏 元(一社)日本包装機械工業会 技術部 部長	3
		包装材料の知識(1) 段ボール	浅香 智之 氏 レンゴー(株) 包装技術第一部 東京包装技術第一課 担当課長	3

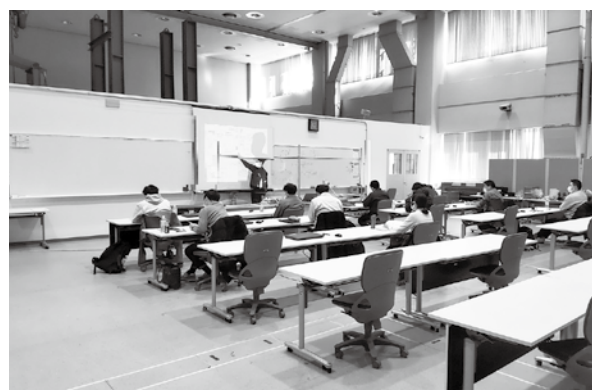
◎リアル対面講座 第二弾

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
4	9月12日(木) 10:00～17:00	9月19日(木) 10:00～17:00	安全工学 グループディスカッション	池田 博康 氏 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ 特任研究員	6
	9月13日(金) 10:00～17:00	9月20日(金) 10:00～17:00	ロボットの最新事情	瀬川 友史 氏 PwCコンサルティング合同会社 ディレクター	3
			包装材料の知識(2) 紙器・板紙	小島 正人 氏 王子パッケージング(株) 生産本部 富士事業所長	3

No	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
5	オンデマンド配信期間 9月10日(火)～10月15日(火)	仕様書・取扱説明書の在り方	増田 康弘 氏 (株)東京自動機械製作所 設計開発部 先端技術研究室 技術・特許課 課長	3
		食品の安全・安心と包装	平野 晃 氏 森永製菓(株) 研究所 研究開発戦略部 包装技術研究グループ	3
		包装システムと検査装置	植山 英弘 氏 アンリツ(株) インフィビスカンパニー グローバル事業推進本部 Iブランディング部	3

No	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
6	オンデマンド配信期間 10月16日(火)～11月18日(月)	包装と印字	山口 礼司氏 イーデーエム(株) 技術本部 部長	3
		海外出荷に伴う国際規格	西村 宏之氏 NITTOKU(株) 生産支援部 安全設計推進室 室長	3
		包装における環境配慮設計の考え方	松田 修成氏 (株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス シニアアドバイザー	3
		デジタル技術の現状と今後 ーIoT、5G、AI、ビックデータ等ー	岡部 忠氏 (地独)東京都立産業技術研究センター 研究開発本部 情報システム技術部 IoT技術グループ 主任研究員	6
7	オンデマンド配信期間 11月26日(火)～1月14日(火)	包装機械と衛生管理	真野 仁孝氏 MANO技術士事務所 代表	3
		包装機械と特許	橋本 虎之助氏 橋本総合特許事務所 所長 弁理士	6
8	オンデマンド配信期間 1月15日(火)～2月17日(月)	食品を巡る包装の現状と将来展望	石谷 孝佑氏 (一社)日本食品包装協会 理事長 農学博士	6

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
9	3月6日(木) 10:00～17:00	3月13日(木) 10:00～17:00	ディベートディスカッション	企画運営委員	6
			修了式	包装学校長 企画運営委員	



◎包装機械設計技術専門課程（2024年11月～2025年2月）

No	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
10	オンデマンド配信期間 11月26日(火)～1月14日(火)	機構学の基礎、駆動システムの選び方	西田 麻美 氏 (株)プラチナリンク 代表取締役 工学博士	6
		初歩から学ぶ制御工学	西田 麻美 氏 (株)プラチナリンク 代表取締役 工学博士	6
		設計と生産技術	山村 憲司 氏 (株)古川製作所 総務部 副部長	3
		食品包装容器の無菌充填包装技術	伊藤 泰昌 氏 四国化工機(株) 技術センター 所長	3

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
11	1月16日(木) 10:00～17:00 会場は、高度ポリテクセンター	1月23日(木) 10:00～17:00 会場は、ポリテクセンター関西	実習講座（電子回路編）	高度職業能力開発促進センター 関西職業能力開発促進センター	6
	1月17日(金) 10:00～17:00 会場は、高度ポリテクセンター	1月24日(金) 10:00～17:00 会場は、ポリテクセンター関西	実習講座（機械編）	高度職業能力開発促進センター 関西職業能力開発促進センター	6

No	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
12	オンデマンド配信期間 1月15日(火)～2月17日(月)	電子回路（1） 電子回路の基礎知識	浅野 博 氏 関東職業能力開発大学校 生産電子情報システム技術科 教授	6
		電子回路（2） 制御の基礎知識	浅野 博 氏 関東職業能力開発大学校 生産電子情報システム技術科 教授	6
		機器設計とデザイン	田中 隆充 氏 国立大学法人 岩手大学 教授 工学博士	6

◎パッケージングエンジニア専門課程（2024年11月～2025年2月）

No	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
10	オンデマンド配信期間 11月26日(火)～1月14日(火)	ケーススタディ（1） 一横ピロー包装機の基礎知識一	一岡 幹朗 氏 協和電機(株) 代表取締役社長	3
		ケーススタディ（2） 一縦ピロー包装機の基礎知識一	窪井 宏行 氏 (株)川島製作所 技術本部 技術部 縦型ユニット 次長	3
		海外取引の常識	渡辺 広志 氏 (株)東京自働機械製作所 MG営業部 次長	3
		ケーススタディ（3） 一共同開発・その他の技術契約について一	岡村 剛敏 氏 大和製衡(株) 代表取締役専務取締役	3
11	オンデマンド配信期間 1月15日(火)～2月17日(月)	食品包装設計	清水 啓介 氏 清水KSK技術士事務所 所長 包装専士	3
		医薬品包装機械のバリデーション	澁井 将興 氏 CKD(株) 自動機械事業本部 包装事業統括部 技術部 首席技師	3
		医薬品包装の現状の課題と これから求められる包装について	三浦 雅代 氏 サトーヘルスケア(株) 営業企画部 PHソリューション推進グループ	3
			小林 真知子 氏 サトーヘルスケア(株) 営業企画部 PHソリューション推進グループ	
		マーケティング戦略と パッケージデザイン	中越 出 氏 (公社)日本パッケージデザイン協会 事務局長	3

第51期包装学校カリキュラム ◎デジタル制御技術専門課程 (2024年6月～11月)

◎開講式・グループワーク（オリエンテーション） ※共通課程との合同開催

No	東京会場	テ ー マ	講 師	時間
1	6月21日 (金) 10:00～17:00	開 講 式	包装学校長 企画運営委員	6
		グループワーク (オリエンテーション)	企画運営委員	

◎オンデマンド講座

No	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
2	オンデマンド配信期間 8月6日 (火) ～ 9月9日 (月)	包装産業事情と包装人	大森 利夫 氏 (一社)日本包装機械工業会 会長 大森機械工業(株) 代表取締役社長	3
	オンデマンド配信期間 8月6日 (火) ～ 10月7日 (月)	包装機械のメカトロニクス化	畑野 真人 氏 元 (一社)日本包装機械工業会 技術部 部長	3

◎モーション制御実習講座

(実際の包装機械に採用されている機械制御の言語とトレーニングデモ機を使用して、機械を制御するために必要な知識とプログラミングのテクニックを習得します。)

No	日 時	テ ー マ	講座のポイント (狙い)	講 師
3	A日程 10月30日 (水) B日程 11月6日 (水) 10:00～17:00 包装機械会館2階	PLC (シーケンサ) ・ユニット構成特徴 ・開発ツールの操作 (簡単な回路を作成) モーションコントローラの特徴 ・マルチCPU構成の概念 ・システム設定、軸設定パラメータの設定、マルチCPU設定 ・モーションプログラム概要 ・モーションプログラムの作成方法 ・同期制御概念 運転シーケンス(ラダー言語トレーニング) ・メカデモ機にて自動運転回路を作成 横形ピロー包装機の概要説明 ・メカ機とメカトロ機 トレーニングデモ機 ・デモ機仕様書説明 ・デモ機モーションシステム概要説明 ・機械原点復帰動作説明 ・初期位置移動量の方程式(計算式作成トレーニング)	プログラミングツール操作を習得する モーションコントローラシステム構成を理解する モーションプログラムを理解する モーションプログラム言語の作成方法を習得する 同期制御の意味を理解する メカデモ機で運転シーケンス回路を作成する 運転回路の標準化の重要性を把握する 横形ピロー包装機を知る 仕様書の重要性を理解する デモ機のシステム構成を把握する 横形ピロー特有の原点復帰動作を理解する 横形ピロー特有の仕様を理解する	畑野 真人 氏 元 (一社)日本包装機械工業会 技術部 部長 吉岡 伸洋 氏 大森機械工業(株) イノベーション推進本部 副本部長 森本 裕紀 氏 三菱電機(株) FAシステム事業本部 FAソリューションエンジニアリング部 業種アプリケーションサポートグループ 主席技師
	A日程 10月31日 (木) B日程 11月7日 (木) 10:00～17:00 包装機械会館2階	・初期位置移動量の算出 (モーションプログラムトレーニング) 不等速データテーブル (カムデータ作成トレーニング) ・色々な動作を体験(縦ピロー、ケーサなど) デモ機の制御システム、プログラム構成説明 ・タスクの説明 タイミングカム、クラッチ、シフト機能の説明 応用実習兼修了認定試験の課題説明 (タイミングチャート作成、プログラム作成及びデバック)	カムデータの動作を体感する 他機種への応用を創造する デモ機の制御システムを理解する タイミングチャートの重要性を把握する	
	A日程 11月1日 (金) B日程 11月8日 (金) 10:00～16:00 包装機械会館2階	応用実習兼修了認定試験 レジマーク制御概要の説明 他社のモーションコントローラの紹介 デモ機を使っでの自由実習	レジマーク制御の考え方を理解する 他社コントローラとの相違点を知る モーション制御設計に自信を持つ	

◎修了式 (講座の修了者が対象となります) ※共通課程との合同開催

No	日 時	テ ー マ	講 師
4	2025年3月6日 (木) 15:30～17:00	修 了 式 (東京)	包装学校長 企画運営委員
	2025年3月13日 (木) 15:30～17:00	修 了 式 (大阪)	

◎ 募 集 要 項

- 包装機械設計技術専門課程
- パッケージングエンジニア専門課程
- デジタル制御技術専門課程

- ◎ 受 講 資 格
- 包装機械設計技術専門課程・パッケージングエンジニア専門課程
原則として上長の推薦を有し、且つ関連業務に実務経験を有する方
 - デジタル制御技術専門課程
原則として上長の推薦を有し、且つ制御関連の仕事に1年以上携わった方

- ◎ 定 員
- 包装機械設計技術専門課程 50名
 - パッケージングエンジニア専門課程 50名
(東京会場・大阪会場) 50名ずつ
 - デジタル制御技術専門課程 16名

- ◎ 受 講 料 (全期間通し)
- 包装機械設計技術専門課程
 - ・会 員 340,000円 (税別)
 - ・非会員 390,000円 (税別)
 - パッケージングエンジニア専門課程
 - ・会 員 320,000円 (税別)
 - ・非会員 370,000円 (税別)
 - デジタル制御技術専門課程
 - ・会 員 130,000円 (税別)
 - ・非会員 180,000円 (税別)
- (テキスト、資料費、集合教育昼食費等を含む)

- ◎ 申 込 期 間
- 2024年3月25日(月)～2024年5月10日(金)まで
申込順に受け付け、定員になり次第、申込を締め切らせていただきます

- ◎ 申 込 方 法
- 所定の入学願書を当会ホームページよりダウンロード下さい
当会HP：<https://www.jpmma.or.jp/school/contact.html>
又はQRコード先より



入学願書はExcel形式となっておりますので必要事項をご入力の上、
原則として電子データ (ExcelまたはPDF) をメール添付にて、
下記、事務局宛てにお申込みください。

一般社団法人 日本包装機械工業会 包装学校事務局
〒104-0033 東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館 3階
E-mail：school51@jpmma.or.jp TEL：03-6222-2279 FAX：03-6222-2280

- ・受講料のお振込み
お申込み後、別途ご案内をさせていただきます
恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担願います

- ◎ **キャンセル** お申込みの講座をキャンセルされる場合、当会のキャンセルポリシーに基づきキャンセル料が発生します
お申込み前に必ず、当会HPよりご確認ください
キャンセルポリシー：<https://www.jpmma.or.jp/school/contact.html>
又はQRコード先より



●包装機械設計技術専門課程

●パッケージングエンジニア専門課程

開講式開催月より翌月まで ￥100,000（消費税別）を返却いたします
開講式開催月より翌月以降は受講料の返却はいたしません

■デジタル制御技術専門課程

実習講座開催月前月まで ￥50,000（消費税別）を返却いたします
実習講座開催月以降は受講料の返却はいたしません

- ◎ **修了** ●包装機械設計技術専門課程・パッケージングエンジニア専門課程
次の両項の条件を満たす受講生には、修了証を授与いたします
1. 講義の所定日数に出席したもの
 2. 試験答案を提出し、規定点以上の成績を取得したもの

■デジタル制御技術専門課程

1. 試験答案を提出し、規定点以上の成績を取得したもの
2. モーション制御実習講座を修了したもの

- ◎ **称号授与** ●包装機械設計技術専門課程 包装機械設計士
●パッケージングエンジニア専門課程 包装機械相談士
各課程の修了者で、成績優秀な者を認定試験により上記称号に認定し、認定証（カード）を授与いたします

- ◎ **修了者特典** ・授与された称号は、名刺等印刷物に使用できます
・包装機械情報メール「P&M通信」その他関係資料が送付されます

助成金に関して

各都道府県により対応等が異なりますので、詳細に関しましては、下記にお問い合わせ下さい

■お問い合わせ先

各都道府県労働局

または下記ホームページよりご確認ください

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

(人材開発支援助成金のご案内ー厚生労働省)

■個人情報について

本校に提出の入学願書に記載された個人情報の取扱いは、本校研修の実地、運営等に関する範囲内に限って利用を行い、その他の目的には利用いたしません。

なお、修了者名、資格認定試験合格者名、勤務先名は包装機械情報メール（無料）「P&M通信」に掲載いたします。

登録はこちらから <https://www.jpmma.or.jp/publication/index.html> 又はQRコード



●包装学校長

大森機械工業(株) 代表取締役社長 大森利夫

●包装学校企画運営委員

企画運営委員長 協和電機(株) 代表取締役社長 一岡幹朗

副企画運営委員長 大和製衡(株) 代表取締役専務取締役 岡村剛敏

企画運営委員 イーデーエム(株) 技術本部 部長 山口礼司

〃 C K D (株) 自動機械事業本部 包装事業統括部 技術部 主席技師 澁井将興

〃 (株)東京自働機械製作所 MG営業部 次長 渡辺広志

企画運営委員 (株)古川製作所 総務部 副部長 山村憲司

企画運営委員顧問 城南自動機(株) 代表取締役会長 古城美武

企画運営委員アドバイザー イーデーエム(株) 代表取締役社長 安達拓洋

事務局 一般社団法人日本包装機械工業会 専務理事 金澤信

〃 〃 技術部 部長 栲矢隆一

〃 〃 事務局 次長 長谷雄仁

〃 〃 技術部 係長 荒井拓己

一般社団法人
日本包装機械工業会

〒104-0033 東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館
E-mail : school51@jpmma.or.jp
TEL : 03-6222-2279
TAX : 03-6222-2280
URL : <https://www.jpmma.or.jp/>

包装学校事務局
担当・問い合わせ
技術部：荒井
総務部：長谷雄